

ふれ愛にしうち

第28号

太田西ノ内病院広報誌・第28号

発行／(一財)太田綜合病院附属太田西ノ内病院

編集／太田西ノ内病院広報委員会

発行日／平成26年7月

住所／郡山市西ノ内2丁目5番20号 TEL(024)925-1188

ホームページ：<http://www.ohita-hp.or.jp/>



ご挨拶

この度、太田西ノ内病院院長に就任致しました新保卓郎（しんぼたくろう）です。ひとことご挨拶を申し上げます。

郡山で仕事をするのは今回が初めてです。東日本大震災直後の困難な様子など伺い、震災の傷跡や除染作業の様子を目にするにつけ、容易でない状況をひしひしと感じています。現在に至るまで、地域やそして医療体制にも大きな影を落としているようです。

そのような中でさらに、時代も社会も医療も変わろうとしています。人口の減少と高齢化、医師不足、新しい医療技術の導入、健康保険などの制度も変化します。太田西ノ内病院も変化し前進し続けなければなりません。120年近く地域の皆様と伴に歩んできたわけですが、伝統に胡坐をかきことなく、新しい時代にふさわしい医療を皆様と伴に創っていく必要があります。

まず最初に、職員の技術や患者の皆様に対する心遣いでは、国内屈指の病院でありたいと思います。そして患者の皆様信頼され安心して医療を受けられる病院でありたいです。職員が一つになり、丁寧な心のこもった医療を提供したいと思っています。

そして太田西ノ内病院だけではなく、他の病院・診療所、関係諸機関との連携を発展させ、地域の皆様が健康で充実した日々を送れますよう応援したいと思っています。

新病院長

しんぼたくろう
新保卓郎



糖質制限食の

真実

いよいよ夏本番となるこの時期、減量の手段として糖質制限食を考えている方は少なくないと思われます。しかし、この方法は科学的に正しいか検証してみる必要があります。

総カロリー量を考慮せずに、炭水化物のみを通常の半量（50～60g/日）に制限した糖質制限食の結果が2003年に発表されております。

今までの食事療法に比較して有意な体重減少効果とともに、血糖値や中性脂肪、血圧の低下効果が得られる長所が示されました。

その一方で食事の満足感が不十分で脱落例が多く、半年後には通常の食事療法と減量効果は変わらないという事実も判明しました。また必要である筋肉や骨量が今までより減少する短所や、糖質の代わりに動物性蛋白を多く摂取した症例は総死亡率が上昇する事象が2013年に報告されるに到り、この方法には問題がある可能性が指摘されました。

現在では、糖質制限食が体重減少に有用でことはある程度確認されていますが、長期的な効果にさまざまな疑問があることから糖尿病学会ではこの方法を推奨しておりません。

栄養素のバランスがとれた食事を適切な量で楽しむことが現在でも最適な食事療法であり、減量方法ではないでしょうか？



文責 糖尿病内科 山崎 俊朗

福島県県中県南地域

医療連携ネットワーク

(略称：県中県南メディカルネット)

について

県中県南メディカルネットは、当院の医療情報（薬の処方、注射、検体検査、画像）を『かかりつけ医』で参照できるシステムです。このシステムの名称を「ID-Link」といい、複数の施設間で医療連携を緊密に行うことを目的としています。

ネットワークに参加している施設では、受診歴や医療情報を共有しているため、重複した検査や薬剤投与を防げるだけでなく、一貫した安全で効率的な医療サービスを受けることができます。転院や在宅療養時も安心感を持つことができます。

このシステムを利用するには、当院の医療情報を『かかりつけ医』が見ることを許可する同意書に署名していただく必要があります。ご希望の方は、『かかりつけ医』にお申し出ください。詳しくは、地域医療連携室（6号館2階）にご相談ください。

おくすり千夜一夜

魔法の弾丸

2



フレミングはペニシリンを発見した翌年の1929年（昭和4年）「ペニシリウム培養液の抗菌作用」とくにインフルエンザ菌への応用について」という論文を書いた。そして実用化に取り組んだが、熟練した化学者の協力を得ることができずペニシリンを精製することはできなかった。彼の論文は英国実験病理学雑誌に掲載されたまま10年放置された。

1940年（昭和15年）になって、イギリスの病理学者フローリーと生化学者チエーンがフレミングの論文を読みペニシリンの作用に着目した。

彼らはペニシリンの酸性溶液が低温エーテルで抽出できること、さらにそれを濃縮乾燥させても安定していることを見いだした。このようにしてペニシリンを分離精製し、化学的に安定な粉末状にすることに成功した。

のちの研究でこの当時のペニシリン粉末の99.9%は不純物であったことが分かっている。

（薬剤師 佐藤彦衛）

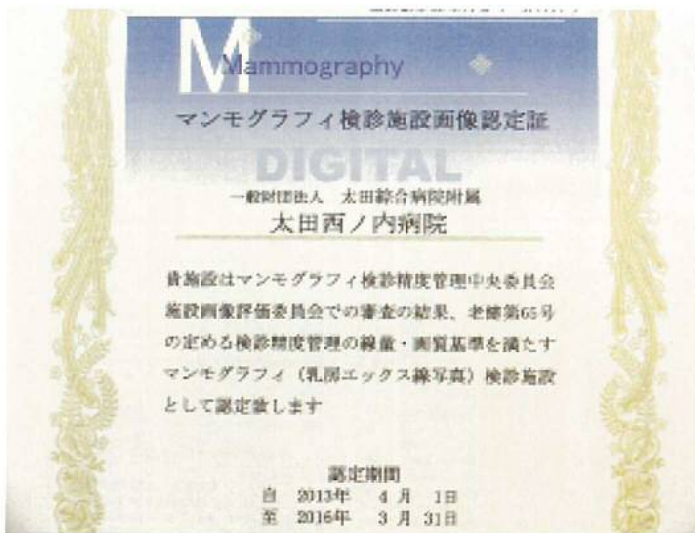
マンモグラフィ検診施設画像認定・撮影認定技師とは？

マンモグラフィ検診施設画像認定とは、「マンモグラフィ検診精度管理中央機構（精中機構）」が、マンモグラフィ画像等の審査を行い、高精度の検診を提供できると認められた施設

設にのみ与えられるものです。具体的には、基準を満たしている撮影装置を使用し、日常の精度管理や被ばく線量、運用が正しく行われているかどうかを厳しく審査

されます。また、きちんとした手技で撮影されたものであるかどうか撮影技術や画質も併せて審査されます。

当院は、平成25年4月1日に取得しました。



マンモグラフィ撮影認定技師とは、診療放射線技師が「精中機構」が行う講習・試験を受け、マンモグラフィ撮影に関して一定基準以上の知識・技術があると認められた診療放射線技師に与えられる認定証明です。

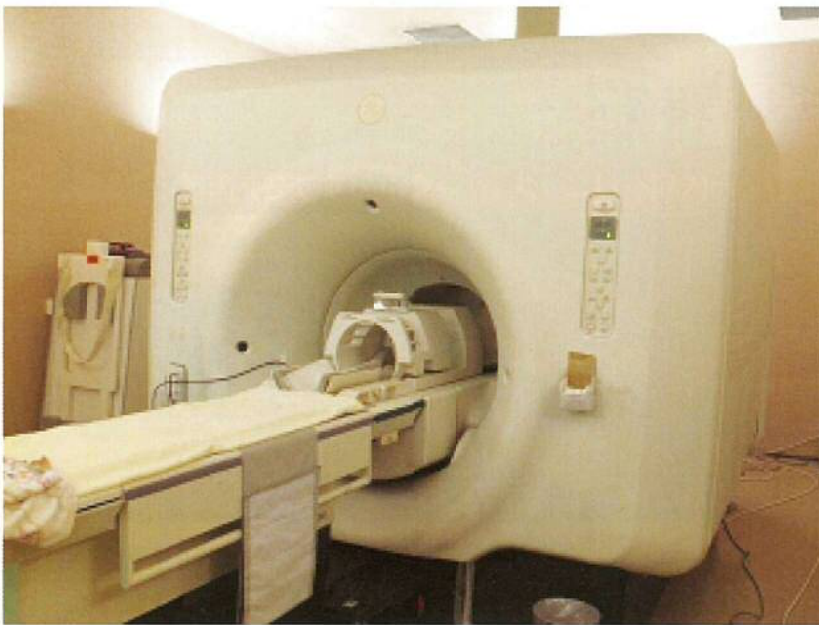
当院では8名のマンモグラフィ撮影認定技師が在籍しています。

毎日の精度管理、撮影技術の向上により検診精度をより高め、マンモグラフィ検査を安心して受けていただけるよう努めてまいります。
(放射線部 斎藤由起)

mammography

MR装置更新

平成26年7月より、MR装置の更新が始まります。
工事中はご迷惑をおかけします。
本稼働は8月中旬になります。



MR装置外観



3D立体撮像

・任意の角度を切ることが
容易カラーの部分で疾患



造影剤を用いた腹部3D表示



全身のPET様検査

・放射線被曝がない
・PETと比べ1/5の費用
・検査時間が短い

更新後は、より良い画像が提供できます。
(放射線部 MR室)

オープンシステム 情報ネットワーク

太田西ノ内病院では、患者さんに質の高い医療を受けていただくために、開業医の先生方と連携をむすんでいます。
ここでは、太田西ノ内病院オープンシステムの登録医療機関、登録医師のご紹介をしていきます。

東原クリニック



まつもと内科クリニック



くわのすずき内科クリニック



所在地／〒963-8025

郡山市桑野4-10-6

電話／024-991-5700

FAX／024-991-5800

診療科／内科・消化器内科・

内視鏡内科・肝臓内科

休診日／水曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日

受付時間／月・火・木・金 9:00~12:00

14:00~18:00

水・土 9:00~12:30

登録医から

くわのすずき内科クリニック

平成25年11月よりうねめ通り沿いAOKI桑野店裏、西田皮膚クリニック隣にクリニックを開設いたしました。西ノ内病院勤務時代は救急疾患、悪性疾患、高度な内視鏡治療等、難しい患者さんに接することが多い状況でしたが、今後は今までの経験を活かして、地域に根付いた医療を、患者さんの目線に合わせながら、皆様に質の良いものを提供できればと考えております。

風邪などの軽いものから、生活習慣病、各種検診、ドック等、ほか様々な症状に対する診察・精査・治療そして、消化器・内視鏡・肝臓専門医を活かした専門的な診察も行います。また、小児にもある程度対応しています。内視鏡診察は最新の経鼻内視鏡（細径）、大腸内視鏡（細く柔らかめのもの）などを取り揃え、負担の少ない検査を心がけています。

また、連携させていただくことにより、患者さんのご紹介だけでなく、検査結果の確認等もさせていただき、かかりつけ医として責任ある診療をさせていただいております。スタッフ一同、一層研鑽に努めていきたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

院長 鈴木 聡

平成 7年 岩手医科大学医学部卒業

平成 7年 岩手医科大学第1内科(現:消化器・肝臓内科・糖尿病・代謝内科)入局

平成 11年 岩手医科大学大学院卒業
博士号取得

平成 17年 岩手県立宮古病院 消化器科部長

平成 21年 太田西ノ内病院 内視鏡室部長

平成 23年 太田西ノ内病院 消化器科部長

平成25年11月

くわのすずき内科クリニック 開業



鈴木 聡先生とスタッフのみなさん

まつもと内科クリニック

登録医から

2014年6月2日、郡山市田村町金屋マセ口（ぐち）国道49号沿い、郡山市中央工業団地南側入口にて「まつもと内科クリニック」を開院いたしました。専門医としてがんの診断や治療を行うのはもちろんのこと、かかりつけ医・総合診療医として、生活習慣病やお子さんの風邪など、さまざまな病気に対応いたします。地域の皆様に質の高い、確かな医療を提供したいと考えています。

また、各医療機関との連携も保ちながら、より身近で親身な診療を目指します。
スタッフ一同がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

所在地／〒963-0725

郡山市田村町金屋マセ口4-1

電話／024-953-7412

FAX／024-953-7413

診療科／内科・消化器内科・小児科

休診日／水曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日

診療時間／月・火・木・金 9:00~12:00

14:00~18:30

水・土 9:00~12:00



院長 松本寿永

平成 5年 福島県立医科大学医学部卒業、
同大学病院内科研修

平成 7年 竹田綜合病院(福島県会津若松市)
内科・消化器科 勤務

平成 10年 虎の門病院(東京都港区)消化器科
勤務

平成 15年 松田病院(宮城県仙台市)内科 勤務

平成 19年 のざわ内科クリニック

(福島県三春町)内科 勤務

平成 26年 まつもと内科クリニック 開院



松本寿永先生とスタッフのみなさん

東原クリニック

登録医から

東原クリニックは平成26年4月1日に郡山市喜久田町東原グリーンニュータウンそばに開院しました。クリニック近辺は、現在新しい商業施設や住宅施設の建設ラッシュであります。アクセスは国道4号バイパスから、喜久田ヤマダ電機経由後直ぐ、また国道49号郡山インターからは、ワールドビュッフェ経由で直ぐの場所となっております。診療内容は、地域から信頼されるクリニックを目指し、内科一般及び小児科を中心に診療を行っております。また、大腸がんの早期発見、早期治療にも引き続き努めて参ります。生活習慣病、小児メタボリック症候群等、食への不安に対しましては、常勤の管理栄養士が対応にあたっております。診療時間は、朝7時50分から診療しており、月曜の夜間外来も行います。急な発熱、腹痛などにも迅速に血液検査も含めまして対応したいと存じます。

所在地／〒963-0551

郡山市喜久田町字前北17-1

電話／024-925-1616

FAX／024-925-1615

診療科／内科・小児科・呼吸器内科・

循環器内科・消化器内科・

アレルギー科・糖尿病食事指導

休診日／火曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日

診療時間／月・水・木・金 7:50~12:00

15:00~18:00

火・土 7:50~12:00

月のみ 19:00~21:30



院長 新沢穰太郎

(福島県立安積高等学校 99期)

平成 4年 福島県立医科大学卒業
同 第二内科入局

(現リウマチ膠原病内科、消化器内科)

平成 10年 太田西ノ内病院 消化器内科 勤務

平成 15年 太田記念病院 内科 勤務

(臨床検査部長、内視鏡室部長)

平成 17年 太田熱海病院 内視鏡室(非常勤)

平成 26年 東原クリニック 開設



新沢穰太郎先生とスタッフのみなさん

夏バテ解消!スタミナそうめん

彩食健美

これから夏本番。暑いと食欲がなくなり、偏った食事しか摂れなかったり、欠食したりと、夏バテが起りやすくなります。そこで、今回は夏バテ解消レシピをご紹介します。食事で夏バテを対策するには、食べたものを体に必要なエネルギーに変換させる食べ方が大切です。例えば、炭水化物(そうめんやそば等)だけを摂ると、食べた栄養がエネルギーに変換しにくくエネルギー不足となり、また、欠食することもエネルギー不足となり、これらは疲労の原因となる乳酸を作り、乳酸が体に貯まると体が疲れやすくなり、だるくなります。食べ物効率よくエネルギーに変換するには、ビタミンB₁、B₂、クエン酸と一緒に摂ることです。これらは、疲れの原因となる乳酸を消費して、エネルギーにする働きもあります。ビタミンB₁、B₂は豚肉や大豆、いわしに多く、クエン酸は梅や酢、レモンに多く含まれます。ビタミンB₁、B₂はアリシンを多く含む、ねぎやんにく、たまねぎと一緒に摂ることで吸収力がアップします。今年の夏は、夏バテ解消レシピで、暑い夏を乗り切りましょう。

作り方

- ①そうめんは茹でて流水で洗って、氷水でしめ、水気を切る。
- ②人参、茄子は短冊切り、玉葱は薄切り、ピーマンは細切りに、しめじは小房に分ける。にんにく、ねぎはみじん切りにする。茄子は水にさらしあくぬきをする。豚肉は食べやすい大きさに切る。
- ③サラダ油をひいたフライパンに、みじん切りにしたねぎ、にんにくを炒め、香りが出たら豚肉を炒め、火が通りにくい人参から炒め、次に玉葱、茄子、しめじを炒め、火が通ったら塩、こしょうをして蒸し焼きにする。
- ④蒸し上がった③の中にピーマンを入れ、余熱で火を通す。
- ⑤お皿にそうめんを盛り、その上に炒めた野菜を乗せ、上からめんつゆ、お酢、ごま油をかけ、最後にミニトマトを盛る。



スタミナそうめん

材料 (2人前)

茹でそうめん	400g	ねぎ1/3本	30g
(乾燥そうめん150g)		塩・こしょう	少々
豚肉(しゃぶしゃぶ用)	100g	サラダ油	大さじ1(10g)
玉葱 1/2個	100g	酢	大さじ1(15g)
ピーマン1個	30g	めんつゆ	40cc
茄子1/2本	40g	(つけめんの量で希釈して200ccへ)	
人参1/3本	50g	ごま油	小さじ1/2(3g)
しめじ1/2株	50g	ミニトマト	2個(20g)
にんにく1かけ	3g		

投稿募集

太田西ノ内病院広報委員会では皆様からの原稿・写真等を募集しております。今後の広報誌に掲載してほしいものがありましたら、広報委員会までご連絡下さい。

編集後記

新緑さわやかな季節は瞬く間に過ぎ、暑さ到来となりました。暑さといえば、夏ほど好き嫌いがはつきり分かれる季節はないのではないのでしょうか。かくいう私は、今まで「夏なんて、だいたい嫌い!!」と思っていたが人生の大半を来しましたが、最近になって「汗が流れる心地良さ」がようやくわかるようになりました。

現在の生活環境に体がすっかり慣れてしまい、汗をかくことは不快な状態と感じる方は、私ばかりでなく多いのではないかと思います。ところが、汗が出た後の体が軽くなったような感じと、新陳代謝が上がって少しだけ細胞が若返った(?)気分になんともいえず感激してしまいました。屋外での運動はいろいろ支障がありますが、一日20〜30分、冷房を止めて窓を開け放つて体を動かしてみませんか。音楽に合わせて飛んだり捻ったり、「汗ばむ」をもう一歩「汗が流れる」に進めると、シャワーの二層の爽快さと100gの体重減少を保証します。もちろん熱中症には十分気を付けて...

(吉田 順子)

太田西ノ内病院広報委員会

委員長 松本 昭憲
委員 吉田 順子(看護部)
佐藤 彦衛(薬剤部)
松田美津子(生理検査部)
遠藤 智文(栄養部)
柳沼 孝寿(放射線部)
柳沼 清一(IT管理課)
池上絵里子(地域医療連携室)
影山 雄樹(医事課)

幹事